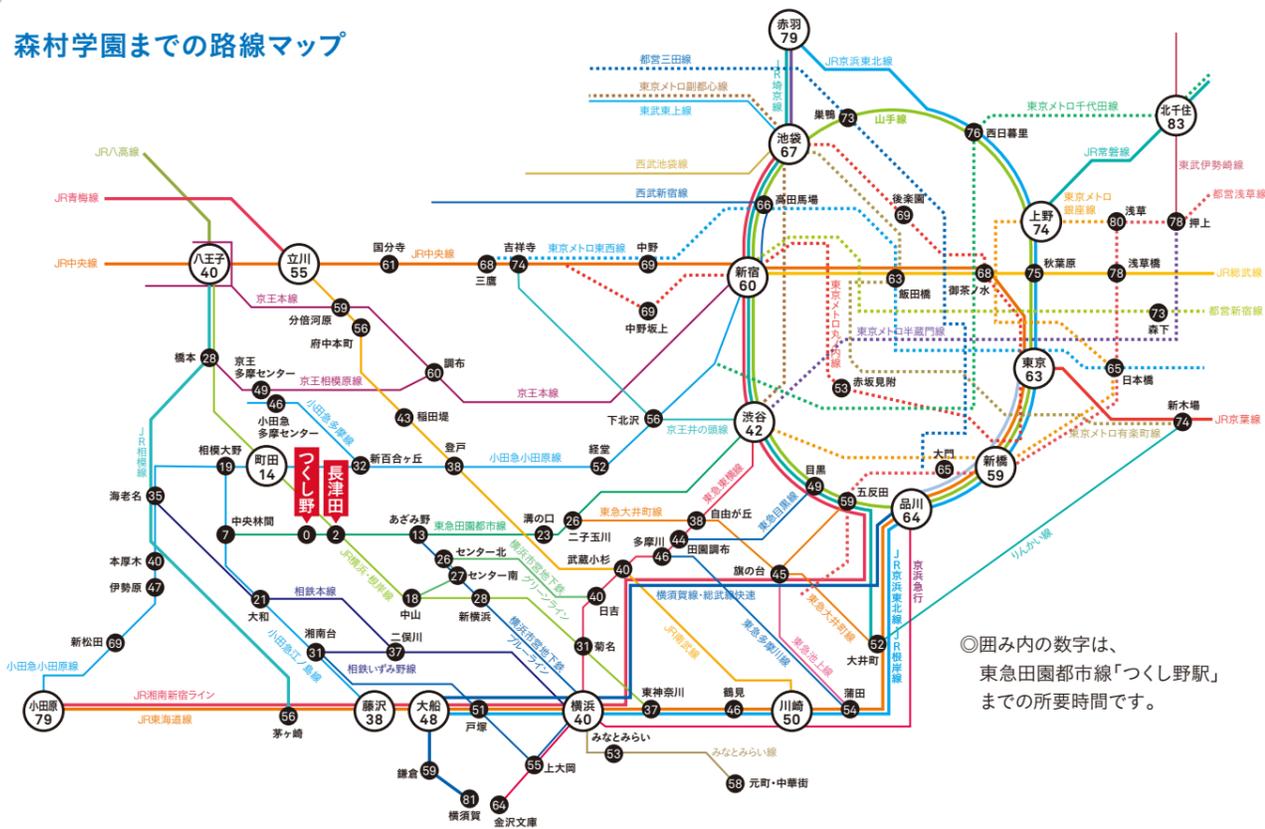


森村学園までの路線マップ

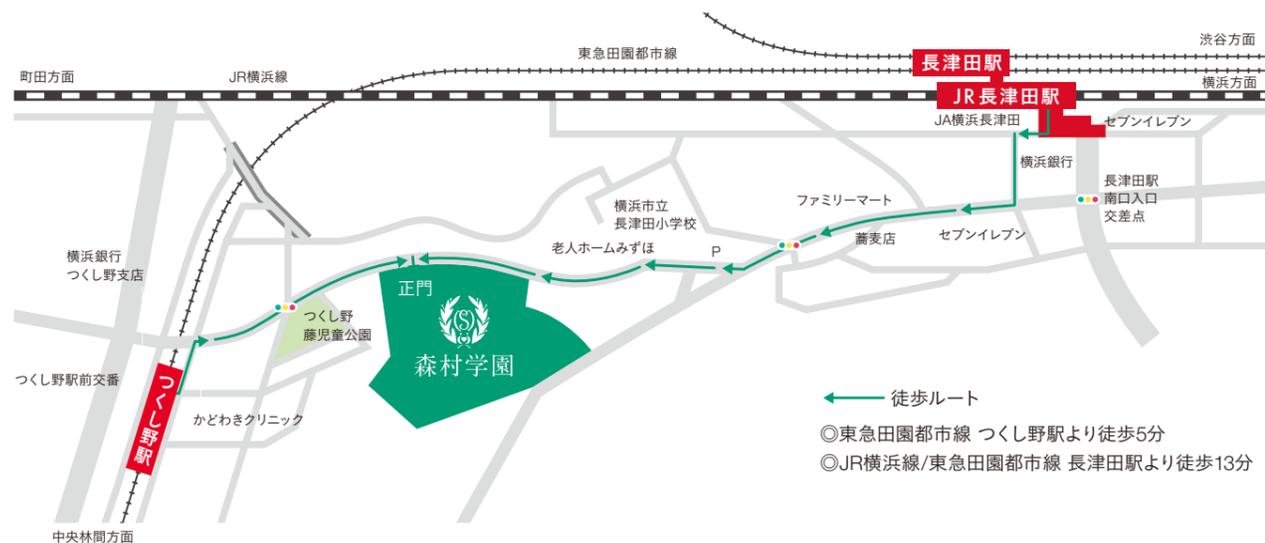


森村学園

中等部・高等部

学校案内 2021

学園周辺マップ



「人徳を備え、自らの力で人生を切り拓き、
世界の力、社会の力となる人材の育成」
森村学園は、この教育理念のもと、
創立者・森村市左衛門が説いた「世界に伍す若者の育成」を目指しています。

「世界に伍す」とは、多様な人間と渡り合いながら、
自ら考え、進むべき道を模索して、行動を起こしていくこと。

そして、どのような時代・環境においても、
力強くたくましく世界へ羽ばたき、未来に向かって進んでゆくことです。

本校では、校訓である行動指針に基づき、
目指したい場所へ自ら向かう力を育んでいきます。

森村学園で目指す未来

建学の精神 「独立自営」

教育理念

人徳を備え、自らの力で人生を切り拓き、
世界の力、社会の力となる人材の育成

校訓 行動指針

正直

誠実であることを最上とし、
偽りのない人であれ。

親切

あたたかき心もち、
行動する人であれ。

勤勉

人の力は無限に進む。
学び続ける人となれ。

グローバル人材のロールモデルとしての森村市左衛門先生からの学びは、

今後の社会で幸せに生きていく力の育成。

どんな困難な状況でも自ら課題を見つけ解決する力を身につける

今から100年以上前、創立者・森村市左衛門先生は、横浜の港から青海原に出てアメリカに渡り、貿易商を始め会社を立ち上げ、日米貿易の先駆者となりました。その生き方をロールモデルとして私たちが伝えたいのは、成功への道のりではありません。どんな困難な状況でも自ら課題を見つけ解決する力、すなわち「船の操縦方法」、「舟の漕ぎ方」のように、目的地を目指して、そこにたどり着く方法を身につけてもらいたいです。建学の精神は「独立自営」、「人徳を備え、自らの力で人生を切り拓き、世界の力、社会の力となれ」ということです。それに必要なことは何でしょうか。

「言語技術」が救世主

それは、課題解決力です。そして、課題解決のためには、論理的思考力・批判的思考力・創造的思考力が必要です。それらの力を身につけて、自ら船を操縦したり、舟を漕いだり、大きくは世界を切り拓く人材を育てることこそが、森村学園の「未来志向型教育」の考え方です。「未来志向型教育」は課題解決力の養成を基盤としています。そのために「言語技術」の助けにより論理的思考力を身につけることが不可欠になります。知識は基礎学力と言われていますが、それを活用するには論理的思考力あつてのものになります。課題解決力の養成には探求型の授業形態が生まれ、いわゆる「主体的で対話的な深い学び」の手法で学び続けることとなります。「外国語(英語)教育」「課題解決(PBL)型授業」で大きな効果を生み出します。さらに、「ICT環境」が加わることにより、世界中の人々と交流を広げることができるのです。「言語技術」は「未来志向型教育」の救世主であり、あらゆる教育に欠かせないものなのです。

「国際交流・多言語教育センター」が始動

2020年、国際交流教育と多言語教育を統括する組織「国際交流・多言語教育センター」が始動し、今後の森村学園の「未来志向型教育」において重要な役割を担います。国際交流を通じ多様性の時代を生きていくための素養を身につけ、そのツールとしての言語を身につけます。帰国生、留学生のサポートをより強化することはもちろん、海外大学とのネットワークを活用することで、海外進学も当たり前の選択肢に入れられるような環境を整えます。英語を使って教科を学び、哲学・時事などを学ぶプログラムも構想中です。世界で通用する教育の拠点となるセンターに、ご期待ください。

今後の社会で幸せに生きていって欲しい

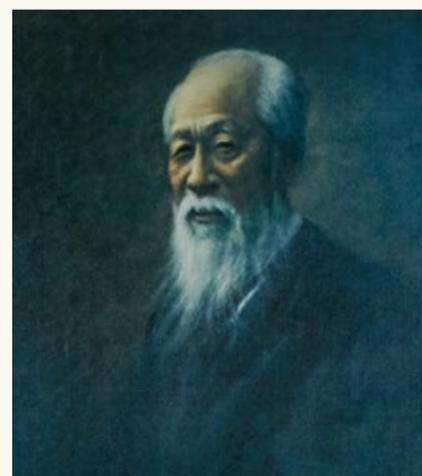
「未来志向型教育」を進めるにあたっての私の一番の願いは「今後の社会で幸せに生きていって欲しい」ということです。語学が堪能な人材を育てることが最終目標ではありません。「未来志向型教育」はみんなが幸せになる基盤となるものだと考えています。そして、幸せに生きていくためには、森村市左衛門先生の人生哲学であった校訓「正直・親切・勤勉」も忘れてはいけません。これは、みなさんが愛に満ちた社会をつくろうとするときの合言葉です。横浜から羽ばたいていく森村生たちがこの言葉を受け継ぎ、伝えていってくださることを願います。



校長
えがわ あきお
江川昭夫

創立者・森村市左衛門プロフィール

TOTOやノリタケなど日本のセラミック産業の創始者として、そして何よりも明治という時代に日米貿易に先鞭をつけた伝説的人物となっている森村市左衛門翁。日本の国力を盛り立てようと、日本製の洋食器をアメリカに輸出し、激動の時代の大成功者となった一方で、彼が痛感したのは「人づくり」の大切さでした。そこで日本女子大、慶應義塾大、北里研究所等に多大な資金援助を行い、その創立に寄与。さらに「独立自営」の精神のもと、自らの屋敷の一角に幼稚園と小学校を創立しました。森村市左衛門翁の人生哲学であった「正直・親切・勤勉」は、そのまま森村学園の校訓として受け継がれています。



沿革

- 1839 天保10年 創立者六代目森村市左衛門生まれる(幼名は市太郎)。
- 1910 明治43年 私立南高輪幼稚園開園。
私立南高輪尋常小学校開校。
- 1941 昭和16年 国民学校令により、森村初等学校と改称。
森村高等女学校発足。
女学校新校舎建築工事起工。
財団法人森村学園創立・認可。
- 1948 昭和23年 校名変更許可。
森村学園幼稚園・初等科・中等科・高等科となる。
- 1950 昭和25年 中・高等科が男女別学となり、男子部が発足する。
創立40周年。
- 1951 昭和26年 財団法人を改組し、学校法人森村学園となる。
- 1978 昭和53年 横浜市緑区長津田町に移転開始。
幼稚園・初等科・男子部・女子部・専攻科を
幼稚園・初等部・中等部・高等部・専攻科とし、
専攻科(女子)のほかは各部とも男女共学制とする。
- 1997 平成9年 中等部・高等部を一体化。
- 2000 平成12年 創立90周年を迎える。
中等部5クラス制に移行開始。
- 2004 平成16年 中等部・高等部週6日制へ移行。
- 2010 平成22年 創立100周年を迎える。新校舎落成。
- 2020 令和2年 創立110周年を迎える。

6年一貫教育

大学進学とその後の未来を見据え、
6年一貫の利点を活かした横断的な学習プログラムを設計しています。



3つの教育ステージ

6年間で3つのステージに分け、先のステージを見据えて「今」必要な学習を徹底して指導します。

中等部1

中等部2

中等部3

高等部1

高等部2

高等部3

基礎学力の育成



国語・数学・英語等では頻繁に小テストを実施。定期的な復習・家庭学習を促して学習習慣を身につけ、6年間の学びの土台をつくります。

応用力の育成



中1・中2で培った基礎学力をもとに、学びを発展させ深めていきます。中3からは徐々に高校の授業の先取り学習が始まります。

実践力の育成



高2から「文系コース」と「理系コース」に分かれます。高3では、志望大学合格に向けて、演習授業で実践力を強化していきます。

未来志向型教育

中等部3年間で、6年間の基盤となる言語技術を習得し、外国語(英語)教育・課題解決(PBL)型授業を推進していきます。

P.7

言語技術教育

未来志向型教育の基盤となり、論理的思考力を育む「言語技術」の授業により、中学3年生までに基礎となる考え方を身につけます。

P.9

外国語(英語)教育

6年間の学びを、コミュニケーションアプローチからロジカルアプローチを経て、クリティカル・アナリティカルアプローチへと段階的にステップアップさせながら4技能を習得します。

P.10

課題解決(PBL)型授業

グループディスカッションから論文作成まで、予測不可能な未来のために「答えのない問い」に挑みます。

P.11

教科教育

6年間を見通した授業計画で、希望の進路を実現できる学力を身につけます。

P.13

国語

中等部では読解(国語I)と文法(国語II)の授業を分け、基礎力を養います。中3からは高校の現代文や古典の内容を含めて学習します。

数学

中学・高校の学年・分野を融合。理解しやすく、体系的かつハイレベルな「体系数学」を教科書に採用しています。

理科

中1～中3は上半期に化学(理科1)・生物(理科2)を、下半期に物理(理科1)・地学(理科2)を学びます。

地理・歴史・公民

中1は日本地理・世界地理、中2は日本史の内容を含むアジア史と世界史、中3で近現代史・公民を学びます。

文理選択

高等部2年生進級時に文理選択を行います。目指す進路、受験する教科に合わせて柔軟に教科を選択することが可能です。



キャリア教育

目指す進路と進学先を具現化します。

進路指導

自ら目指す「路」を明確にする手助けをします。

P.17

進学指導

具体的な進学先を設定、志望校合格のために全力でサポートします。

P.18

行事

行事は人を育てます。研修旅行を通じて多様な世界に触れ、校内行事では主体性をもって行動する姿勢が身につきます。

P.21



みなかみ研修旅行



イングリッシュキャンプ



ニュージーランド修学旅行



広島研修旅行



京都・奈良修学旅行

「独立自営」の精神で未来という青海原へ

未来志向型教育

森村学園の未来志向型教育とは

森村学園が推進する「未来志向型教育」は、「言語技術」を基礎に、「外国語(英語)教育」「課題解決(PBL)型授業」「ICT環境」の3要素から成り立つ独自の教育システムです。予測不可能な未来社会をたくましく生き抜くために、教養ある自己表現を獲得し、自国社会はもとより国際社会に貢献する人財を育てること。それが、森村学園が目指す「未来志向型教育」です。



「言語技術」という船が、「外国語(英語)教育」「課題解決(PBL)型授業」を推進力として、「ICT環境」を利用しながら確かな未来を目指す。それが、森村学園の考える、「未来志向型教育」です。

未来志向型教育の学習プロセス

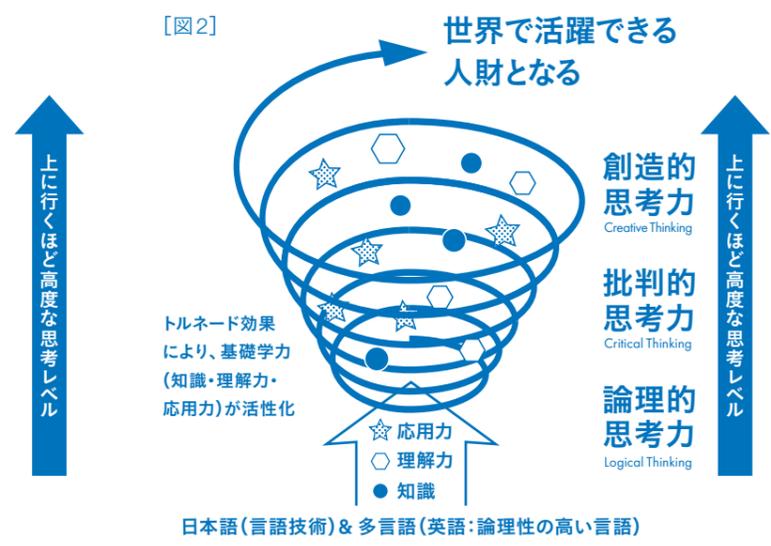
学習のプロセスは、「知識」の集積、「理解」「応用」を経て「論理的思考」「批判的思考」「創造的思考」へと思考レベルが向上します。これは、「タキソノミー(教育目標の分類学)」という、アメリカの教育学者ベンジャミン・ブルームが提唱したものです。[図1]

森村学園では、基礎学力の習得とともに「言語技術」を学ぶことで、[図2]のように「学びの好循環」を生み出します。生徒は、「言語技術」を活用することにより、習得した基礎学力(知識・理解力・応用力)を、より高度な思考レベルへと引き上げることができます。ひとたびその循環に入り込むことができれば、学習の上昇スパイラルがトルネードのごとく基礎学力を活性化させて発展していきます。

[図1]【教育目標分類】



[図2]



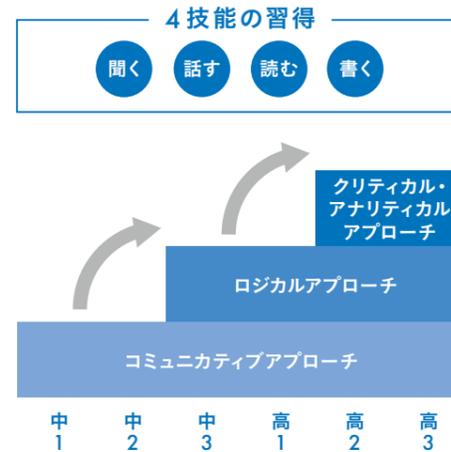
ゴッホ「星月夜」の分析(言語技術)

外国語教育

グローバル社会をたくましく生き抜く力を養う

森村学園での6年間の英語学習は、2年ずつ段階的にアプローチを発展させながら「聞く・話す・読む・書く」の4技能を習得します。初期段階の中1・中2では、コミュニケーションの道具として、英語を使えるようになることを目指すコミュニケーションティブアプローチ。中3・高1からは、より論理的に英語で考え、意見を述べる力の獲得を目指すロジカルアプローチ。高2・高3の最終段階では、批判的・分析的に物事を捉え、自らの考えを口頭で発表したり文章にまとめたりするなど、創造的で知的な英語の活用を目指すクリティカル・アナリティカルアプローチです。言語技術で学ぶ内容とあわせ、英語で論理的に自分の考えを述べられるようになります。

森村の外国語教育



ルート別授業(2020年度から)

中1・中2では、今までに英語に触れてきた時間と経験の差を踏まえ、New Treasureを使用し基礎から着実に学習を進めるルートと、海外のテキストUncoverを用い全て英語で学習を進めるルートを選択できます。



実践的な言語活動(中等部)

普段の授業に加え、ネイティブ教員による少人数制授業を実施。海外研修などさまざまなシーンでも実践的に使える経験を積みます。さらに希望者には、英語でディスカッション等をする講座も設けています。



英検®(実用英語技能検定)

学年ごとに合格目標を設定して英語力を底上げ。中3初期までに3級合格、高1から準2級以上合格を目指し、事前の対策講座や2次試験対策の個別指導(希望制)でサポートします。



言語技術教育

グローバル人財の基盤をなす

言語技術の特徴は、言葉を用いるさまざまな手法を生徒の参加と作文によって指導する点にあります。それは、対話・物語・説明・論証に分類され、問答ゲームを通して型に則って発信する方法を指導した後、大量の質問を浴びせて対象を分析的に捉え、自ら発問する能力を獲得させます。これを基盤に全ての授業がアクティブ・ラーニング、すなわち思考し、発信する形式で行われます。問答ゲームはパラグラフ形式の文章である小論文や英語の記述方式に発展します。この時必要なのが情報を空間的に配列する手法で、これは全体から部分に情報を組み立てる能力となります。文学も重要な要素で、そこには物語と絵・テキストの分析が含まれます。文学的教材や絵画を分析的批判的に考察することは深い教養の土台となります。

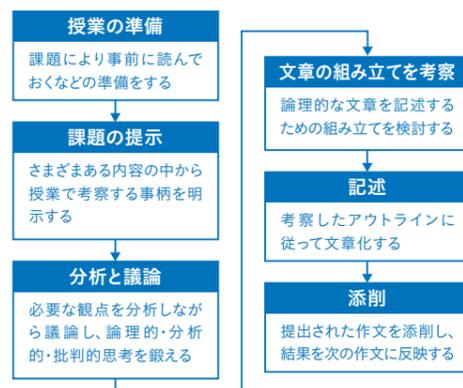
こうした授業は全て議論で実施され、作文で完結されます。その繰り返しの中で、森村学園の生徒は国内のみならずグローバルに通用する母語力を身につけます。



つば言語技術教育研究所と提携し、所長の三森ゆりか先生にも、ご指導いただいています。

積み上げ方式の言語技術

数学と同様、最初は各スキルを個別に学習し、最終的にはあらゆるスキルを応用しながら論理的・分析的・批判的・創造的に思考して議論し、記述できるようにします。



「言語技術」とは

言語技術は、古代ギリシャの雄弁術などに端を発する言語教育で、西洋言語圏の母語教育の根幹をなすものです。その目的は、「聞く・話す・読む・書く・考える」という言語の5機能の鍛錬にあり、ここに文法事項や語彙の組み立てなどを含むあらゆる言葉の要素が含まれます。英語圏では母語教育の内容が言語技術なので、それを母語で身につけると英語の獲得に繋げやすいのです。

「言語技術」が身につく森村学園のカリキュラム

問答ゲーム

世界に通用する型(結論・根拠・まとめ)で発信する訓練です。同時に質問に答える力、分析的に発問する力を鍛えます。英語、及びパラグラフ構成の文章の土台にもなります。

再話

読み聞かされた物語を再生する訓練です。これを通して、物語を構造的に捉える力、重要点をメモする力、物語を文章化する力、大量に記述する力、要約力が身につきます。

空間配列

空間的に捉えた情報を論理的構造的に秩序立てる訓練です。情報の捉え方、組み立て方に影響を与え、小論文、論文、さまざまな情報文、プレゼンテーションの土台になります。

丸本

丸ごと一冊分析する授業を年間3冊実施します。物語の構造・視点・設定・人物・葛藤・暗喩・主題などを、内容に即して議論しつつ分析し、課題に対して論証文を記述します。

課題解決(PBL)型授業



答えのない問いに「自分なりの答え」を出す

中等部では「未知の世界を知ろう」をテーマに、社会での活躍を見据えたさまざまなプログラムを、PBL形式で実施しています。まず中1で行うのは、「創業者・森村市左衛門研究」。市左衛門の生き方を通して、世界で活躍するとはどういうことなのか、どのように新しい道を切り拓くのか、自らの道を模索していくための基盤をつくります。

中2の「職業研究」では、各自興味のある職業について調査する過程で、グループワーク・発表を行います。中3では、「自由課題研究」において自ら問いを立て、課題解決にはどんな知識・調査が必要か、どのように発表したら理解してもらえるかを生徒主体で考えます。同様のテーマを研究する生徒同士でディスカッションし、新しい切り口を発見しながら、論文にまとめます。



Future Room(フューチャールーム)には可動式の机とイス、プロジェクター、数多くのホワイトボードがあり、ダイナミックなグループ学習を可能にします。

探求学習

高1では、平和学習をテーマに広島を訪問。現地の学校や放射線影響研究所などでフィールドワークを実施した後は、学んだことをパワーポイント等にまとめて中等部の生徒に向けてプレゼンします。



SDGs学習

昨年はSDGsカードゲームを体験。実際に17の目標に取り組んでいる企業を訪問し成果を発表する過程で、世界の課題を自分ごととしてとらえ、考えるきっかけとなりました。

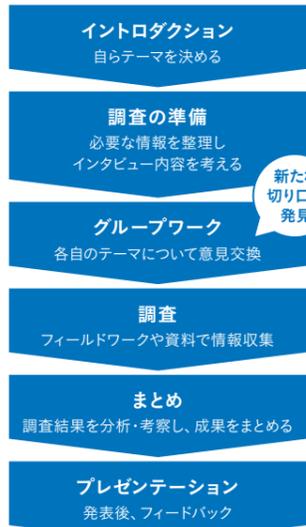


シアターラーニング

プレゼンで求められる豊かな表現能力を養うため、中1のみなみ研修旅行で「シアターラーニング」を導入。自分を解放し、身ぶり手ぶりを交えて人の心を動かすテクニックを学びます。



授業の流れ(例)

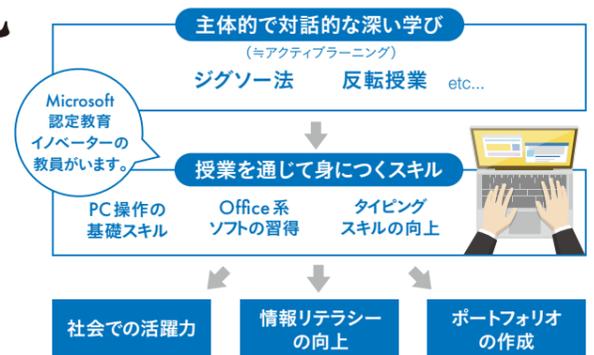


ICT環境

学校生活をより便利にし、社会で生きる力をつける

未来志向型教育を推進する上で、ICT環境の充実には欠かせません。本校では2in1PC(タブレット端末としてもノートパソコンとしても使えるパソコン)を授業に取り入れ、2021年までに全校生徒が所有することを目標に、利用環境を整えています。現在、自習室やパソコン室のPCで受講している駿台サテライト講座は328講座の授業が受講可能ですが、各自2in1PCを持つようになれば自宅でも受講が可能となり、好きな時間・場所で自学自習ができるようになります。情報取得能力の高い子どもたちの情報リテラシーを徹底的に高める指導も行いながら、学校生活や授業でのICT環境の活用を通じて、世界で通用する人財を育成します。

森村学園のICT教育



“情報共有ツール”としての2in1PC

2in1PCは、単に授業のツールとして利用するだけではなく、日々の連絡事項などの情報共有ツールとしても活用し、学校生活とプライベートの棲み分けをしっかりと行います。

主体的・対話的学び

授業前に自ら予習して臨む反転授業や、アクティブラーニングの手法の一つであるジグソー法(学習者同士が協力して進めていく学習方法)でも2in1PCの活用が期待できます。

社会での活躍力

本校ではiPadやChromebookではなくSurfaceを採用。PC操作の基礎スキルをはじめ、タイピングスキルの向上やOffice系ソフトの習得など、社会で必要とされる力を授業の中で自然と身につけます。

サポート体制

自学自習をサポートする丁寧な指導

自学自習を習慣化させ、希望の進路を実現するための学力育成を後押しする充実した体制を整えています。

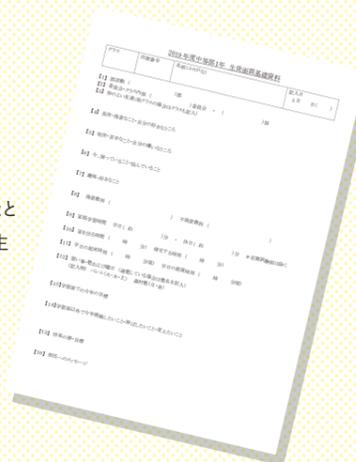
家庭学習の記録、データ化

中等部のうちに、自学自習の習慣を根付かせるため、家庭での学習時間を生徒それぞれが記録します。記録したものはデータ化し、分析して見えた課題を教員から伝えることで、より効率よく効果的な習慣が身につくように導きます。



面談の記録、カルテ

年2回行う生徒との面談では、記録として「カルテ」を作成しています。生徒の現状、希望などが細かく記録されたカルテは学年が進んでも共有され、一人ひとりの生徒へのきめ細かい指導につなげています。



指名補習・希望補習

指名補習は、主に国・数・英において学期総合成績によって対象者を決定。長期休暇中やその都度行う講座で苦手を克服します。希望補習は成績中・上位層が対象。高等部2年や3年は、目的別の講座や大学受験演習タイプの補習などを選択可能です。



駿台サテライト講座

自習室やパソコン室のPCを利用して、駿台予備学校が提供する映像授業を安価で受講することができます。主に高等部3年生を対象とした講座ですが、長期休暇中などには高等部1・2年生用の講座もあり、自習時間に活用されています。





国語

自らの考えを適切な言葉で表現する力をつける

言葉を使う時に大切な「考える力」「読み味わう力」「書く・創る力」「話す・聞く力」「言語知識の力」5つの力を育みます。中1から中3では「5分間書写」を実施し、それぞれの年齢やその時の社会情勢に応じた小説、有名作品の冒頭、評論文などを書き写すことで、さまざまな言葉・表現を自分のものにします。



社会

学び考えたことが人生の核になる

中1の段階では、まず、社会科を好きになることからスタート。学んだことと実社会のつながりを、頭と心と五感を使って考え、学ぶ意欲を引き出します。さらに教科書の内容をベースにしたオリジナルプリントを全授業で使用し、幅広いテーマを扱うことも大きな特徴です。正解のないあらゆる問題に対して、自分で考える力を養います。

技術家庭

チームティーチングで実技を大切に指導



さまざまな領域で実習を数多く取り入れ、よりよい生活を送るために必要な知識や技術を習得し、実生活におけるいろいろな課題を解決する方法を学びます。実習はチームティーチングで行っており、生徒一人ひとりにきめ細やかな実技の指導を目指しています。高等部では、より実践的・体験的な学習を行い、広く社会との関連から生活のあり方を考えるきっかけを作っています。

芸術鑑賞

芸術鑑賞でも一貫カリキュラムを意識

中等部で日本文化を、高等部では西洋文化を学びます。例えば、中1では和楽器、中2では狂言、中3では寄席を鑑賞。これは日本文化を理解し、中3のニュージーランドファームステイで語れるようにすることも目的としています。高等部では、ミュージカル・演劇・バレエなどを鑑賞します。事前学習を踏まえ、本物の舞台に触れて心からの感動を覚え、感性を養います。



保健体育

心も体も鍛える

中1から高2までは男女別で全員が同じ種目を実践し、高3は選択制で、さまざまなスポーツの楽しさを学びます。「心も体も育てる」ことを意識し、チームワークや仲間との関わりを通して、体育という枠を超えて、人間として必要なスキルを身につけます。

書道

充実した環境で本格的な作品づくりにもチャレンジできる

広々とした書道室では、教室の机では書けないようなサイズの作品に挑戦することが可能です。また、水泳のビート板のような発泡プラスチックに刻字するなど、ユニークな作品づくりにも挑戦し、自分の表現したいことを形にする力や集中力、納得いくまでやり抜く力を育みます。



学ぶ意欲を引き出し一人ひとりが

もつ力をのばす

音楽

豊かな表現力を身につける

中等部では楽曲分析を行い、作曲者の意図を学びます。また、中1では琴を体験。「さくらさくら」を全員が弾けるように練習します。高等部でもいろいろなジャンルの数多くの作品に触れ、多種多様な表現方法を学びます。音楽教育は、他者とのコミュニケーションの大切さなどを学び、感受性や協調性、豊かな人間性を育む大切な教科です。



数学

論理的に考察する力を育む

毎日の学習習慣を定着させるために、問題集のノート提出を通じて、途中式の書き方や直しの大切さを指導します。中2までに中学の学習内容を終え、中3の1学期から高校の数学がスタートします。高1では習熟度別授業を実施。粘り強く考える力と、論理的に考え判断する力を養います。



数多くの実験にじっくり取り組み分析・考察する

充実した設備で、教科書にないオリジナルの実験も交えた数多くの実験に取り組みます。実験助手(教員免許取得者)が必ずサポートにつき、安全に進めることができます。中等部では高校の学習内容も取り入れ、難しい実験にもチャレンジ。実験結果は、言語技術を活用して分析・考察を進めます。

理科



美術

個性と感性をのばす

中等部ではさまざまな表現方法や技法を体験します。また、日本美術と西洋美術を通史で学び、多様な視点や価値観に触れます。高等部では選択授業でより専門的に学び、コンセプトを重視した作品づくりを促します。自分の思いを実現していくことの難しさと面白さを実感しながら、試行錯誤する心を育てます。



Republic of Malta



海外研修以外のプログラム

中等部2年 全員

English Camp

翌年の「ニュージーランド修学旅行」の事前学習として行う、2泊3日の英語漬けプログラムです。生徒約10人に1人のネイティブ教員が付き添い、英語でゲーム・スポーツ・劇を体験しつつ、英語で表現することの楽しさを味わいながら自信を深めます。



中等部/高等部 希望制

Immersion Class / SAP

中等部生対象のImmersion Classではさまざまなテーマや課題について英語で話し合い、解決しながら英語の4技能を向上させます。帰国生や英語が好きな生徒にとっては有意義な週1回の放課後プログラムです。
※SAP (Study Abroad Preparation) は、海外大学を目指す高等部生を対象にIELTSやTOEFLの対策を行う週1回の放課後プログラムです。



TOPICS

海外大学進学協定校推薦入試制度に加盟!

海外の大学が学内の多様性を高めるために優秀な日本人学生を受け入れる目的で設けた特別入試制度です。各協定大学が設ける成績基準を満たし、学校推薦を受けることで出願が可能になります。卒業まで奨学金制度(返済義務なし)を適用する大学もあり、希望する生徒は、各大学の受給基準を満たしたうえで出願することで、確実に奨学生として指定の大学に入学することができます。

協定大学例 (協定校50校から抜粋)	[アメリカ]	[イギリス]	[カナダ]	[オーストラリア]
	アイオワウェスリアン大学 (私立リベラルアーツ大学)	ロンドン大学シティ校 (公立総合大学)	サイモンフレイザー大学 (州立総合大学)	ウーロンゴン大学 (公立総合大学)
	サンフランシスコ州立大学 (州立総合大学)			
	ノースイースタン大学 (私立総合大学)			

2020年4月

「国際交流・多言語教育センター」活動スタート!

森村学園の教育の柱となるグローバル教育をより効果的に推進するための組織です。本校の国際関連プログラムを一括して企画・運営していきます。



可能性を広げる海外研修プログラム

Australia

New Zealand



グローバル教育

多様な文化や価値観に触れ、視野を広げるプログラムで、創立者が目指した「世界に伍す若者の育成」を具現化します。

中等部3年 全員

ニュージーランド修学旅行

先住民マオリ族の文化を学んだり、現地の学校を訪問したりしながら異文化を体験する5泊7日のプログラムです。はじめの3日間はホストファミリーのもと「ファームステイ」をし、これまで学んだ英語表現を実践しながら、現地の生活を体験します。学校訪問では、現地の生徒は「ハカ」を、森村生は「ソーラン節」などを披露し、交流を深めます。



中等部2年~高等部2年 希望制

オーストラリア語学研修

夏休みに生徒1人が1家庭に3週間滞在し、ステイ先の「パディ」と一緒に現地の学校に通学します。本校生徒向けの英語の授業のほか、現地の中学生と同じ授業に参加したり、幼稚園や小学校の子どもたちと交流したりする機会もあり、「英語で学ぶ」良い体験となります。



高等部1年・2年 希望制

マルタ・グローバル研修

地中海に浮かぶ元英国領・マルタ共和国で行う16日間の研修旅行。世界中から集まる研修生達と同じ現地の語学学校に通いながらグローバルな交流を深めます。さらに7000年の歴史遺産に触れながら、美しい風景を満喫できる研修です。



高等部1年・2年 選抜制7名

ターム留学

高等部1・2年生の希望者の中から選抜された7名が、オーストラリア・メルボルン郊外の学校で自分と同等学年に所属し、約3ヶ月間滞在するプログラムです。公益財団法人森村豊明会および同窓会から「留学奨励金」が支給されます。

生徒たちは現地ですさまざまな価値観を学び、英語力もつけて帰国します。



Global Education



進路指導と
進学指導

夢を見つけるカリキュラムと夢に 近づくための徹底したサポート

「未知の世界」に目を向け、自らの夢の方向性を探る「進路指導」。その夢を実現させるために必要な知見を広げ、学力を向上させる「進学指導」。それら2つは車の両輪のごとく、生徒一人ひとりの希望を叶える役割を果たします。

進路指導

進学指導

中等部

1年

2年

3年

高等部

1年

2年

3年

個別の
アプローチ

ポートフォリオ 中1入学当初から高3卒業の日まで、試験・行事の記録・自分の感性、調べ学習、探究活動など個人の成長をファイリングし、6年間での成長を目に見える形で残していきます。

生徒面談

学習の記録

ベネッセ学力推移調査(年3回) / ベネッセ総合学力調査(年1回)



ベネッセスタディサポート(年1回) / 河合塾全国統一模試(年1回)

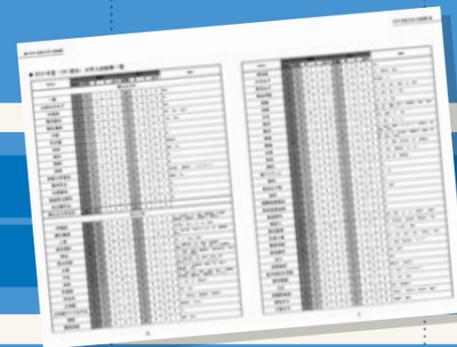
ベネッセ総合学カテスト(年3回)

ベネッセ総合学力記述模試(2回)、ベネッセ大学入試共通テスト模試(1回)、駿台ベネッセ共通テスト模試(2回)記述模試(1回)、駿台共通テストプレ(1回)

6年を通した
具体的な学習計画で
学びを結びつける

シラバス 「シラバス」とは、夢を叶えるための6年間の具体的な学習計画です。計画的に学習を進める上で、授業内容や到達目標を確認しながら、頭の中で常に「これまで何を学んできたのか?」「今、なぜこれを学んでいるのか?」「これから何を学ぶのか?」というイメージを描きます。

進路の手引き 大学入試に関する基礎知識や受験のポイントだけでなく、卒業生の体験や参考データを掲載しています。



自分の世界を広げ、
興味の方向性を探るための
基盤をつくる

「高い志」を育む創立者研究

創立者森村市左衛門の人生哲学や功績を学び、その生き方から校訓である「正直・親切・勤勉」や建学の精神「独立自営」の真の意味について探究します。学んだことは一人ひとりがレポートや新聞にまとめて発表し、主体的な学びへと高めています。



職業研究

講演会や各自の調査、インタビュー、職場体験などを通じて興味のある職業について学び、レポートにまとめてプレゼンテーションを行います。進路についてのイメージをふくらませ、今後どのような学びが必要か考えるきっかけとなります。



**文化比較研究
(ニュージーランド修学旅行)**

授業や校外行事などを通じて日本文化への理解を深めます。また、ニュージーランド修学旅行を通して見聞を広め、海外と日本の文化を比較することで多様性を学びます。



自由課題研究

各自で興味のある分野を追究し、レポートを作成。自ら問いを立て、ひとつの事柄を突き詰める粘り強さを身につけます。レポート作成の過程で、言語技術で学んだことが大きく活かされます。

キャリア学習で
未来を
イメージ

進路の日 1日を通して大学の出前授業や説明会を実施し、大学で学びたいことや受験について具体的にイメージします。

オープンキャンパスレポート

夏休みには、各大学で開催されるオープンキャンパスに参加し、レポートを作成。公開講座などの受講を通じて自分の追究したい学問がより明確になります。

大学受験を語る会

大学に合格したばかりの高3生が、後輩たちに向けて実体験を語ります。



志望校合格のための
実力をつける



2コマ連続授業

高等部2年になると、2コマ連続の110分授業が増えます。大学受験問題を解き、しっかりと解説を受けられます。

文理選択

高1の間に夢の実現に必要な教科を検証し、文理を選択。高2から文理コース別授業がスタートします。

徹底した大学受験対策

高等部3年では、各教科で難関大学合格に向けた過去問題演習などを行い、大学入試に向けて実践的な力を身につけます。

駿台サテライト講座 →P.12

TOPICS

**医系総合大学
「昭和大学」と連携**

昭和大学と特別協定校として協定を締結しています。今後の高大連携の実現を図るために、さまざまな相互交流を実施しています。

連携のポイント

- ・大学教育の一端を理解させるプログラムの提供
- ・高校の正規授業、課外授業等に対する支援
- ・双方に有益な教育活動等の展開
- ・昭和大学への受験希望者に対する特別入学試験制度の適用

**海外大学進学協定校
推薦入試制度に加盟!**

→P.16

未来へのステップ // 希望する進路へ



2020年度
大学入試結果

6年間の学びの成果

進路指導と進学指導で積み重ねた学びが結果につながり、国内の難関大学だけでなく、海外の大学へも多数の合格者を輩出しています。

TOPIC 1 難関国立大学へ現役合格!

東京大学 1名
京都大学 1名
東京工業大学 1名

TOPIC 2 早慶とGMARCH現役合格者数の堅実な伸長!

国公立大学	2020年度入試		2019年度入試	
	合格者数	現役	合格者数	現役
東京大学	1	1	0	0
京都大学	1	1	0	0
大阪大学	1	1	1	0
東京工業大学	1	1	0	0
一橋大学	0	0	2	2
東京外国語大学	1	1	0	0
お茶の水女子大学	1	1	1	1
東京農工大学	2	2	0	0
電気通信大学	0	0	2	2
東京学芸大学	1	1	0	0
横浜国立大学	0	0	3	2
筑波大学	2	1	0	0
北海道大学	1	0	1	1
神戸大学	1	1	0	0
秋田大学	0	0	1	1
静岡大学	1	1	1	1
山梨大学	1	0	0	0
信州大学	1	1	2	2
富山大学	1	1	0	0
名古屋大学	0	0	1	1
長崎大学	0	0	1	0
札幌医科大学	0	0	1	0
福島県立医科大学	0	0	1	0
愛知教育大学	1	1	0	0
東京都立大学	7	7	4	4
横浜市立大学	1	1	2	2
名古屋市立大学	0	0	1	1
長野県立大学	1	1	0	0
国公立大学 合計	27	24	25	20

※「首都大学東京」は2020年4月より「東京都立大学」に名称が変わりました。

海外大学	2020年度入試		2019年度入試	
	合格者数	現役	合格者数	現役
University of British Columbia (Canada)	1	1	0	0
University of California (USA)	1	0	0	0
Hungarian Medical University (Hungary)	1	1	0	0
Capilano University (Canada)	1	1	0	0
Carleton University (Canada)	1	1	0	0
Windsor University (Canada)	1	1	0	0
University of Waterloo (Canada)	1	1	0	0
Ryerson University (Canada)	1	1	0	0
California State University San Marcos (USA)	1	1	0	0
Sacramento State University (USA)	1	1	0	0
海外大学 合計	10	9	0	0

TOPIC 3 海外大学の合格者数が昨年から大きく飛躍!

アメリカ 3名
カナダ 6名
ハンガリー 1名

合計10名(現役9名。昨年度の海外大学合格者は0名)

私立大学	2020年度入試		2019年度入試	
	合格者数	現役	合格者数	現役
早稲田大学	19	15	16	10
慶應義塾大学	11	9	16	13
早慶 合計	30	24	32	23
上智大学	6	5	11	10
東京理科大学	25	13	26	22
国際基督教大学	2	2	0	0
上理ICU 合計	33	20	37	32
明治大学	31	24	40	35
青山学院大学	21	19	17	14
立教大学	18	12	14	10
中央大学	33	29	31	22
法政大学	30	27	37	29
学習院大学	8	7	5	5
GMARCH 合計	141	118	144	115

国公立・私立医学部	2020年度入試		2019年度入試	
	合格者数	現役	合格者数	現役
国公立医学部(医学科)	山梨大学	1	0	0
	札幌医科大学	0	0	1
	福島県立医科大学	0	0	1
私立医学部(医学科)	昭和大学	3	1	1
	日本医科大学	1	0	0
	聖マリアンナ医科大学	3	3	4
	東海大学	2	2	2
	北里大学	1	1	1
	東邦大学	1	1	1
	岩手医科大学	1	0	0
	東京女子医科大学	0	0	2
	東京慈恵会医科大学	0	0	1
	日本大学	0	0	1
	国際医療福祉大学	0	0	1
	杏林大学	0	0	1
帝京大学	0	0	1	
獨協医科大学	0	0	1	
海外	ハンガリー国立大学	1	1	0
医学部医学科 合計	14	9	19	10

卒業生数 2020年3月 182名
2019年3月 185名



卒業生
インタビュー

希望の路に進み 活躍する卒業生たち



川上 玲さん

東京工業大学 特任准教授
デンソーアイティラボラトリ シニアリサーチャー

PROFILE

東京大学理科I類・工学部電子情報工学科卒業後、同大学院情報理工学系研究科にてコンピュータービジョンを研究。カリフォルニア大学バークレイ校博士研究員、東大特任講師などを経て現職。



物事を追求する姿勢は、森村で身につけました。

森村で印象に残っている授業はさまざまありますが、特に国語が好きで、自分たちの能力以上のものを読ませてくれたのを覚えています。社会科のレポート学習やビデオを駆使した授業も、先生が取り上げるテーマが幅広くて楽しかったです。また、幼少期には父の仕事の関係で何年かイギリスで過ごしたので、英語は得意でしたが、

高校時代に参加した約1か月の海外研修は、英語での論文執筆やディスカッションなど今の仕事に活かされています。森村の魅力は、人との「距離の近さ」です。幼馴染とは今でもつながっていて、みんなでお世話になった先生の還暦祝いを企画したことも。同学年だけでなく上級生や下級生ともつながりがあります。もう一つの魅力は、個性をのぼし

てまっすぐに育っていける環境があるところです。生徒の自由を認めてくれますし、勉強はしっかりさせるものの、それ以外の時間も大切にしています。そして、部活動やイベントづくりなどやりたいことを追求でき、それが身になって将来の活動の基礎作りができる学園だと思います。自分のいとも兄弟も森村ですし、みんなその良さに納得しています。



鈴木 洋祐さん

株式会社 博報堂 アカウントプロデュース職

PROFILE

早稲田大学創造理工学部建築学科を卒業。博報堂入社後はメーカーの広告制作、新規事業の立ち上げなどに携わり、現在は世界的なスポーツの祭典に関わる業務も担当。



個性豊かな仲間との学校生活が、多様な人と関わる仕事に活かされています。

中3の時にいった国立新美術館がきっかけで、建築学科を目指しました。大学受験で絵を描く試験があったのですが、理系だった僕はカリキュラム上、美術の授業が取れなかったんです。美術の先生に相談すると、放課後にレッスンの個別指導をしてくれました。とても感謝しています。担任でない先生も、相談するといつでも親身になって話を聞いてくれました。

学校生活では生徒会活動に力を入れていて、高2で生徒会長を務めました。企画をしてみんなで創るのが好きで、卒業後も「面白いものを創りたい」という想いは常にありました。しだいに建築よりも広告の方が自分のやりたいことに近いのではと考えるようになり、大学院進学と迷っていましたが、博報堂に内定をいただいたことが決め手でこの道に進みました。

いと思うと森村の生徒は個性豊かで、どんなタイプの人も仲良く認め合っていました。当時学んだ人との関わり方は、さまざまな人の個性を活かしてコミュニケーションをとりながらプロジェクトを進める、今の仕事に活かしている気がします。森村は、自分のやりたいことを思いっきりできて、一人ひとりを認めてくれる場所。きっとやりたいことがみつかると思います。

校外行事(中等部)
中1はチームで課題を解決するアクティビティ「プロジェクトアドベンチャー」で、親睦を深めます。

みずき祭(文化祭)
クラス・部活動・有志団体などが準備から主体的に行い、2日間のイベントを全力で創りあげます。

広島研修旅行(高等部1年)
平和学習をメインテーマとした研修旅行。都会とは違う生活を体験する民泊も行います。

みなかみ研修旅行(中等部1年)
山々に囲まれた水源の街・水上で雄大な自然の中、さまざまなアクティビティを楽しみます。

体育祭
中等部と高等部が団結して、優勝を目指して戦います。



学校行事

行事が人をつくる

仲間とともに一つのことを成し遂げる達成感、さまざまな芸術鑑賞や研修旅行での未知の体験と感動。教室から一歩外に出て、見て、聞いて、感じて、語り合ったこと。一年一年のかけがえのない体験が、生徒を大きく成長させ、これから社会に出ていく糧になります。



森村学園の1日 勉強も部活動も全力で

自然豊かで落ち着いた学び舎で、今日も一日が始まります。クラスメイトと刺激し合いながら学び、放課後は部活動へ。





先輩 × 後輩 Interview

管弦楽部

先輩
深井 晴さん
(高等部 2年生)

後輩
吉荒 伊玖馬さん
(中等部 3年生)



先輩

後輩の成長が感じられ、
教えるのが楽しいです

メンバーで音程やリズム感を全部揃えなくてはならないので、全体での合奏に向けて基礎練習を重ねます。後輩にもたくさん助けられていて、演奏会で楽器を運ぶときは、力が必要になるので頼りにしています。後輩はみんな練習熱心で積極的に臨んでくれるので教えがいがありますし、成長を見られるので教えていて楽しいです。6年間同じことを極めるといふのは、達成感もあり、大きな力が身につきます。

後輩

やさしい先輩たちと一緒に、
演奏会に向けて団結しています

先輩は後輩みんなに気さくに話しかけてくれるので、自分も先輩になったら後輩と積極的にコミュニケーションを取りたいと思います。9月のみずき祭が大イベントで、家族だけでなく、小学生など多くの方がいらっしゃるので、力が入ります。その後は春の定期演奏会があり、ハードな練習ですが、頑張ります。

陸上競技部

先輩
高村 弘毅さん
(高等部 1年生)

後輩
松村 捷利さん
(中等部 3年生)



先輩

後輩に刺激をもらいながら、
自分も成長しています

先輩になってからは、後輩をひっぱっていかないといけないので、自分のことばかりに集中するのではなく、より全体を見るようになりました。後輩が成長してくると、部活前の準備を積極的にやってくれたり、自分が気づかない細かいところも気づいてくれたりしてありがたいです。夏や冬は練習が厳しいのですが、めげずに来てくれる後輩たちは、精神的な面でもすごいと思います。森村は全体的に仲がいいというか、結束力が強いと思います。

後輩

常に全力の先輩を見習って、
もっと強くなりたいです

試合で緊張している時に先輩から「試合前にはこうするといひよ」とアドバイスもらえることは精神的にもすごく楽になりますし、助けになっています。先輩の向上心の高さを尊敬していて、自分だったらきついところも常に全力で駆け抜けているので、そこも見習いたいです。自分が先輩になった時には、今先輩にしてもらっていることを後輩にもしてあげて、よいお手本になれるようにしたいです。

学年をこえて好きなことに熱中!

多彩なジャンルから選べる森村学園の部活動には、ほとんどの生徒が参加しています。中高一貫の6年間で、先輩・後輩の深い絆や関わりが生まれ、人間関係を構築する力が養われます。ともに夢になれる仲間や、かけがえのない日々、そして心から打ち込める何かに、きっと出会えることでしょう。

一緒に夢になれるものを見つけよう!

運動部

空手道部 サッカー部 バレーボール部
剣道部 新体操部 野球部
硬式テニス部 バスケットボール部 陸上競技部
ゴルフ部 バドミントン部

文化部

ESS部 合唱部 美術部
囲碁将棋部 華道部 料理部(高等部のみ)
演劇部 管弦楽部
科学部 茶道部

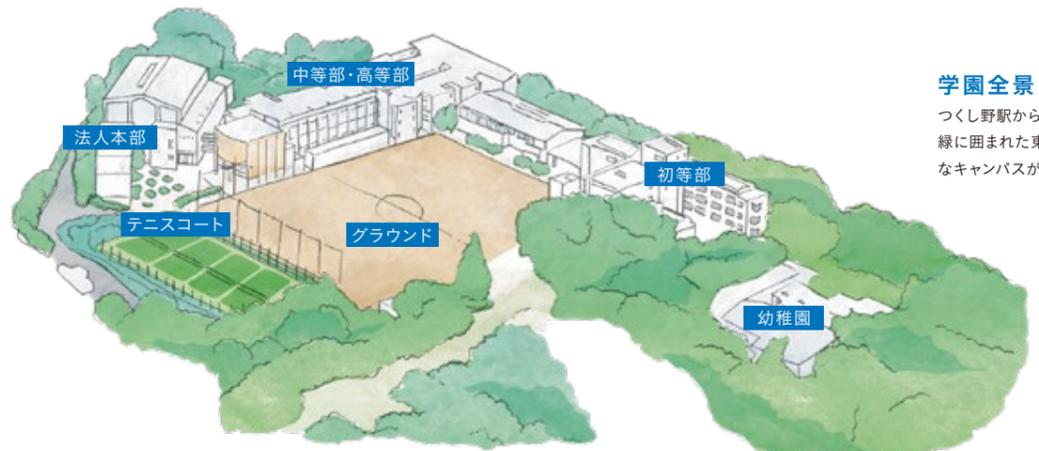
2019年度 主な実績

硬式テニス部	全国中学校テニス選手権大会(団体戦出場) 神奈川県私立中学校テニス選手権大会(団体戦優勝)	空手道部	神奈川県私立中学校空手道競技大会 (女子団体相手の部 3位・女子形の部 2位)
バドミントン部	横浜中学校バドミントン大会 新人戦緑区大会男子シングルス(ベスト16)	ゴルフ部	関東高等学校空手道大会神奈川予選 (女子団体形の部 5位・女子団体相手の部 5位)
新体操部	神奈川県私立中学校新体操大会(団体競技優勝) 関東中学校新体操大会出場 全国高等学校総合体育大会最終予選会(団体競技 2位入賞) 関東高等学校新体操大会出場	管弦楽部	関東高等学校ゴルフ選手権出場(男女個人の部) 全国中学校ゴルフ選手権出場(男子団体の部) 器楽管弦楽演奏会(神奈川高等学校文化連盟) 全国高等学校文化連盟総合文化祭佐賀大会参加 (神奈川代表合同オーケストラ) 全日本高等学校選抜オーケストラフェスタ出場
陸上競技部	神奈川県私立中学陸上競技大会(男子2年100m 8位) 横浜市民陸上競技大会(男子やり投げ 2位・女子走り高跳 7位) 横浜地区高等学校陸上競技選手権大会(男子やり投げ 4位)	美術部	第69回学展(入賞・賞候補入選・入選)



人を育む環境と 成長を支える学校施設

学園の敷地には豊かな緑が広がっています。
その包み込むような優しさが、生徒たちの成長を促してくれます。
さまざまな樹木が自生する自然林が教えてくれる四季のうつろい、美しさ。
清々しく澄み渡る空気。こうした環境が、感性を育てていきます。



学園全景
つくし野駅からほど近い正門をくぐると、
緑に囲まれた東京ドーム1.8個分の広大な
キャンパスが広がります。



ホール

1学年の生徒がゆとりをもって集まることのできる、約300席のホール。学年集会や講演会、音楽会、保護者懇談会、学校説明会等で利用します。



ギャラリー

校舎の中央部に位置し、地下1階から地上3階まで吹き抜けになっています。各階の廊下の両サイドには、特別教室が配置されています。



生物室

生徒の知的好奇心をくすぐる資料や実験機器が豊富に取り揃えられ、さまざまな実習に対応できます。



カフェテリア

昼は食堂、放課後は生徒たちの憩いの場となります。椅子の色によって中高生がすみわけをしています。



テニスコート

キャンパス内に砂入り人工芝のテニスコートが4面あります。周囲は桜やハナミズキなどのさまざまな季節の草木に囲まれています。



自習室

朝の7時30分から多くの生徒が利用しています。各大学の資料や過去の問題集、サテライト講座なども完備しています。



エントランス

高等部の生徒、教職員、お客様用の出入口です。登下校時の混雑を緩和するため、中等部の生徒の玄関は別に設けられています。



第2音楽室

6つある練習室のすべてにピアノが設置されており、合唱のパート別練習にも適しています。



図書館

約5万5千冊の蔵書を誇り、バリエーションの豊富さも自慢です。入口正面に特設コーナーを設けるなどの趣向も凝らしています。



教室

大きな窓からやさしい光がふりそそぐ、明るく開放的な教室。プロジェクターやスクリーン、音響設備も完備しています。



コンピュータ教室

情報リテラシーを学ぶ授業や、PCを使ったプレゼンテーションなどで使用しています。



茶室

茶道部員が使うお茶室。部屋の造りや道具も本格的で、和の心が学べる空間です。